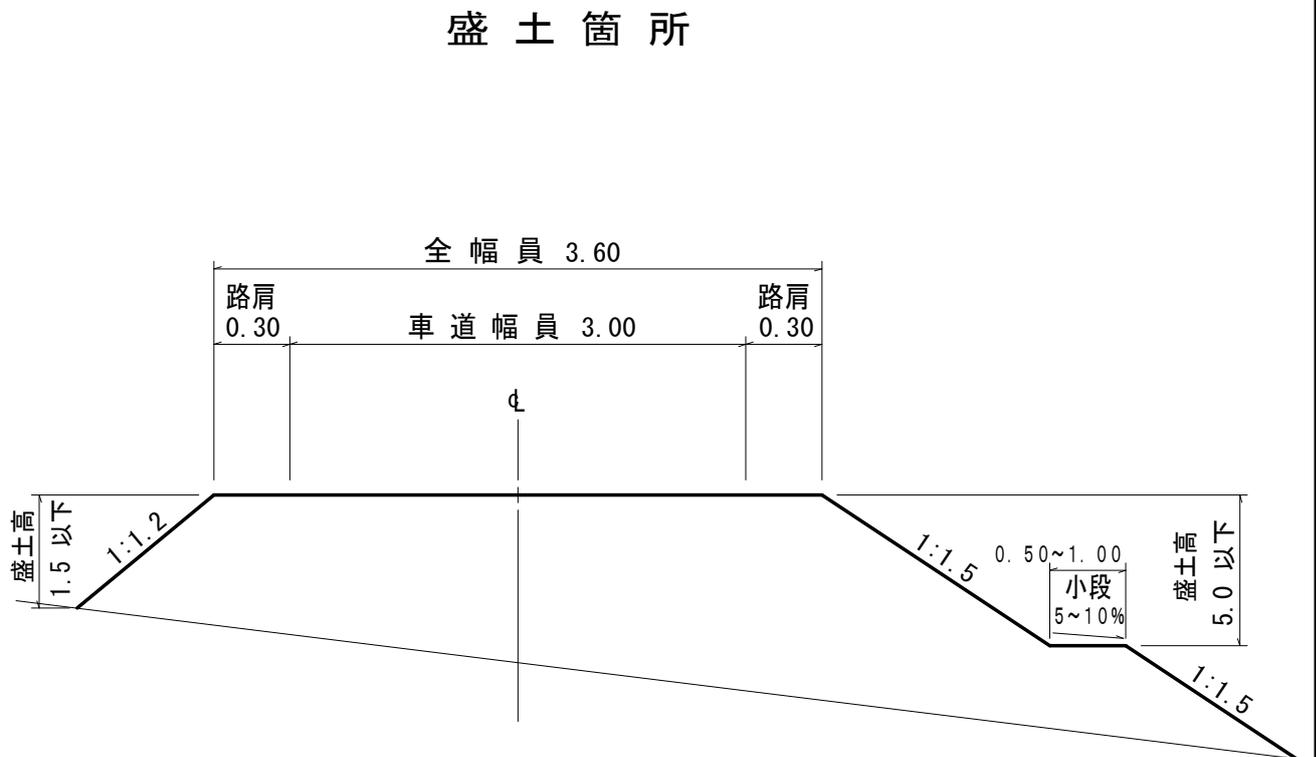
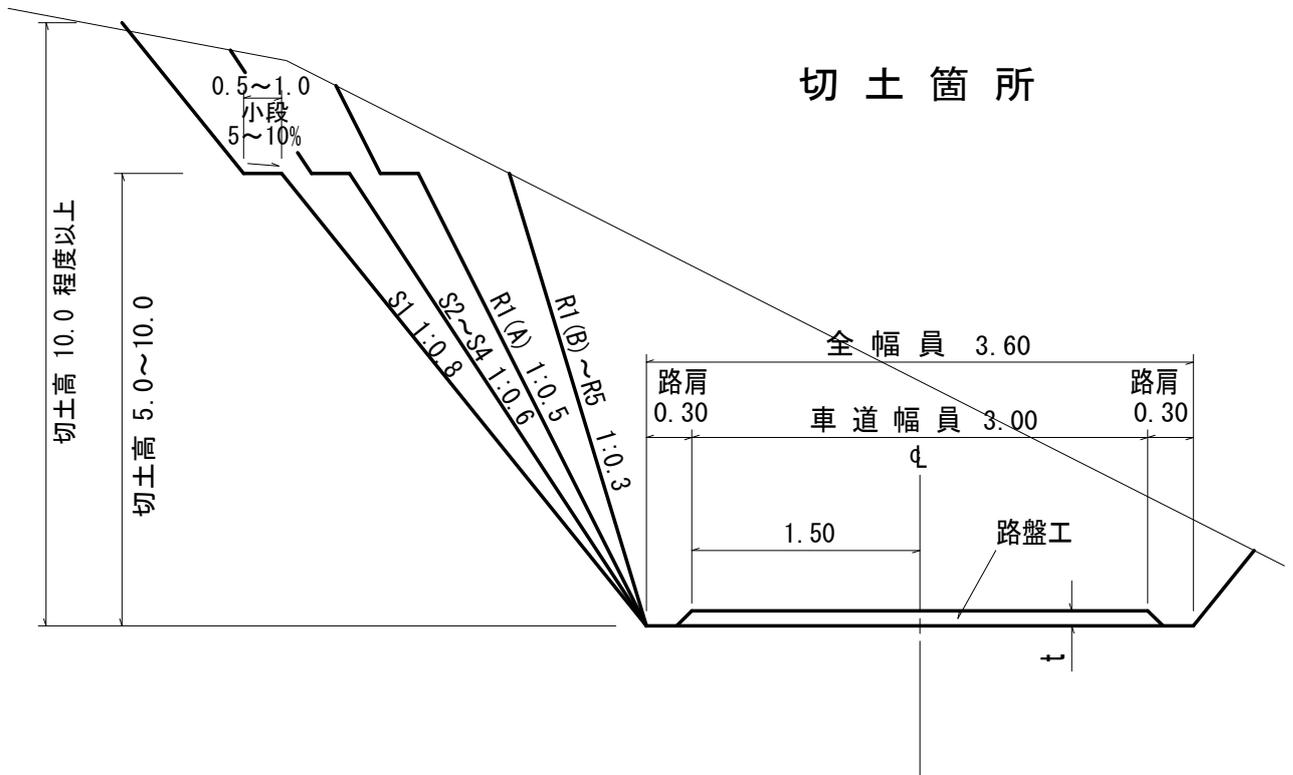


土工標準図

S=1:Free

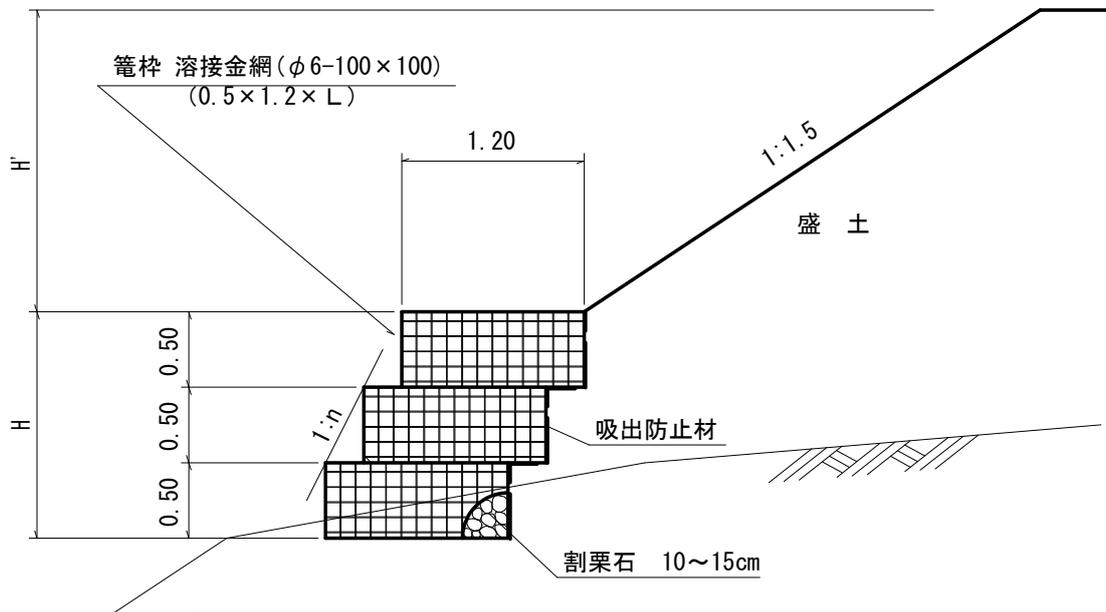


註) 普通林の場合10.0m程度以下に限り1割2分にできる。

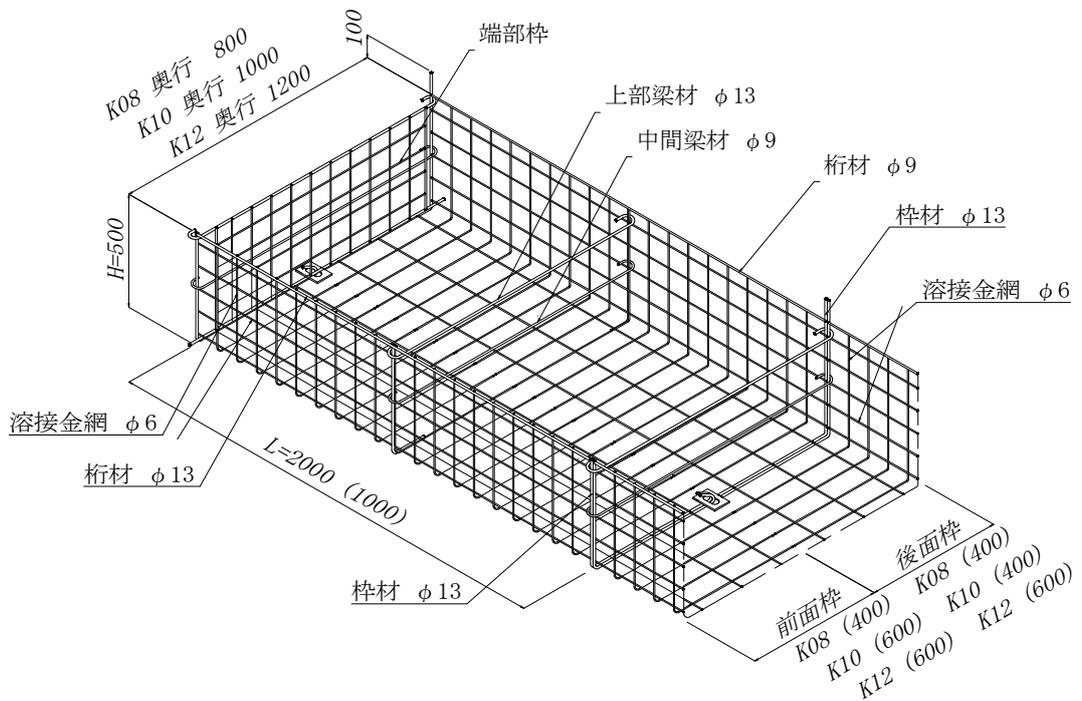
籠 柵 工

S=1:50

側 面 図



法 勾 配	盛土高 (H') 2.0m以下	盛土高 (H') 2.0mを超える場合
1 : 0.4	積高 (H) 2.0m 以下	積高 (H) 1.0m 以下
1 : 0.5	" 2.5m "	" 2.0m "
1 : 0.6	" 3.5m "	" 2.5m "



構造概要

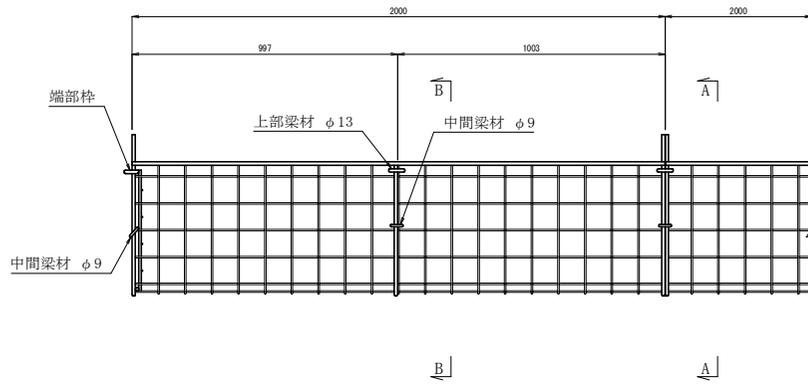
◎仕様 面材 : 溶接金見 φ6mm

桝材 : 棒鋼 φ13mm~φ16mm程度

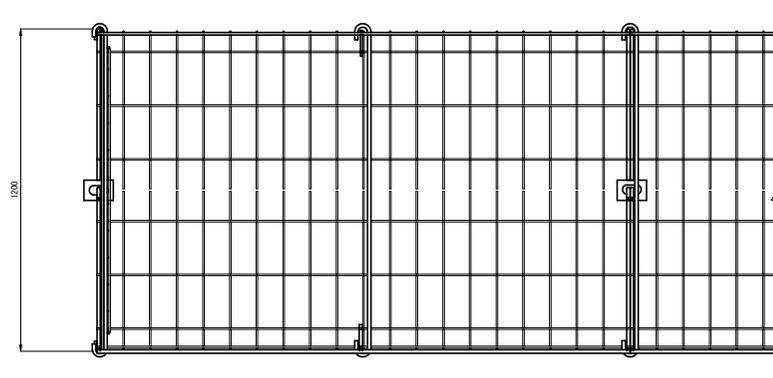
※『治山林道必携』における『かご柵工』に該当

◎連結 : 剛性の無い溶接金網(φ6mm)に直接連結しない。

正面図 S=1/20

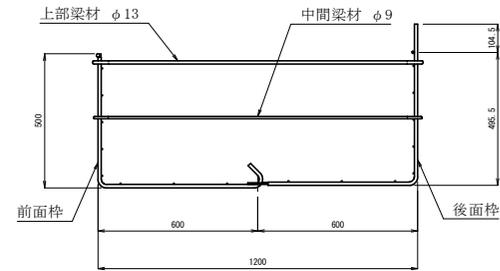


平面図 S=1/20

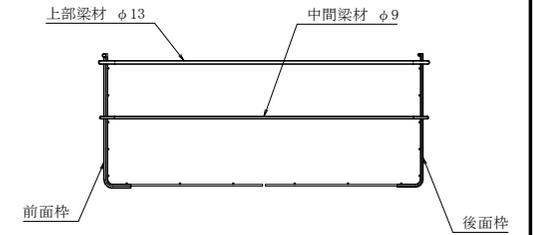


断面図 S=1/20

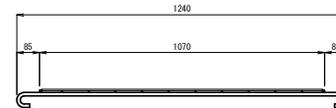
A-A矢視



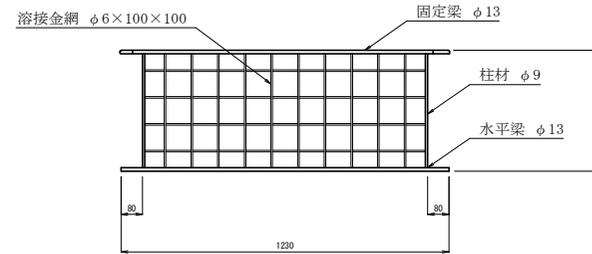
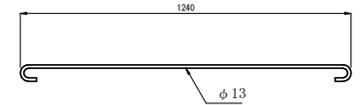
B-B矢視



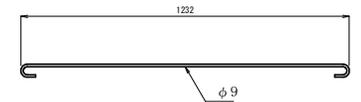
端部柱 S=1/20



上部梁材 S=1/20



中間梁材 S=1/20



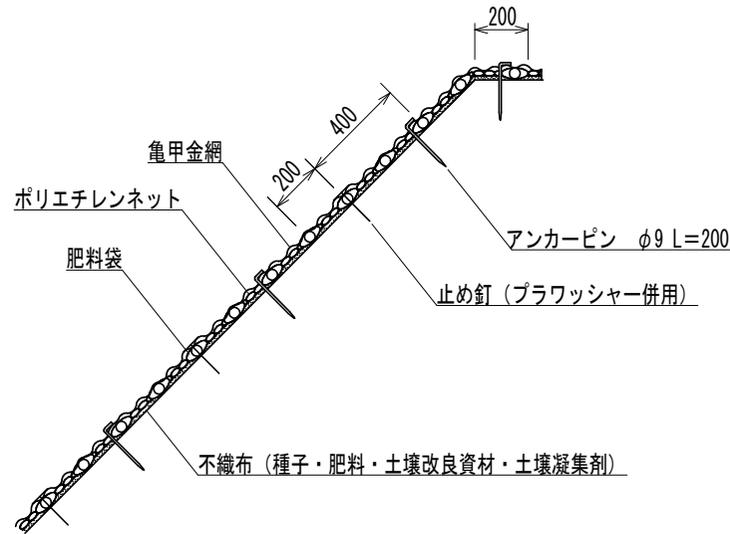
部材リスト (K12型)

部 材 名	部材記号	寸 法 (mm)	質 量 (kg)
前面柱 (長さ×奥行×高さ)	KF206	2000×600×500	13.1
	KF106	1000×600×500	7.36
後面柱 (長さ×奥行×高さ)	KB206	2000×600×500	12.5
	KB106	1000×600×500	7.54
端部柱 (奥行×高さ)	KE12	1240×450	5.07
上 部 梁 材 (φ径×長さ)	J12N	φ13×1240	1.44
中 間 梁 材 (φ径×長さ)	B12N	φ9×1232	0.68
植生シート (幅×長さ)	KS113	1000×1200	-

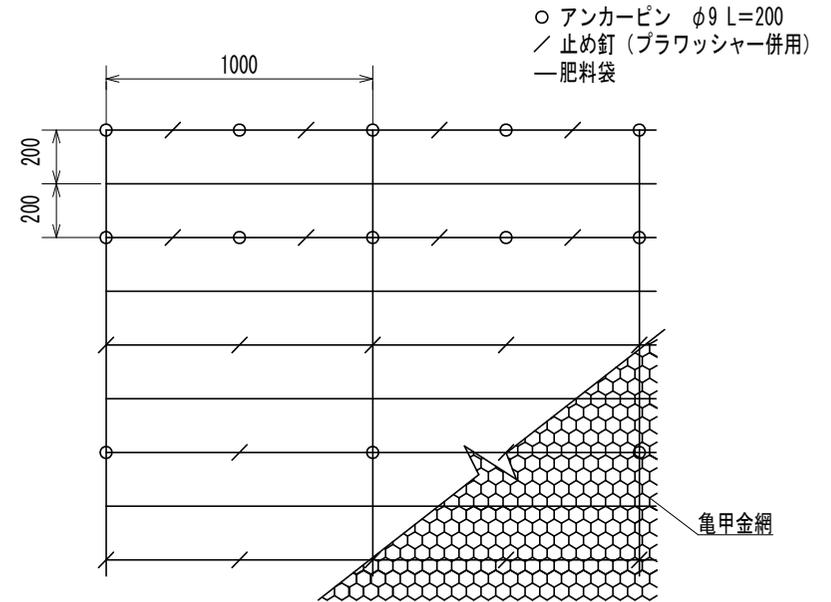
亀甲金網付のり面侵食防止植生マット工標準施工図

(ドレーンシートM45-I-K工法)

標準断面図



標準展開図



ドレーンシートM45-I-K標準規格

(単位: mm)

幅	長さ	肥料袋間隔	亀甲金網		ネット			ポリエステル不織布	
			線径	網目	素材	色	目合	色	目付量
1,000	10,000	200	0.8	40	ポリエチレン	グリーン	15×20	グレー	45 g/m ²

材料表

(100m²当り)

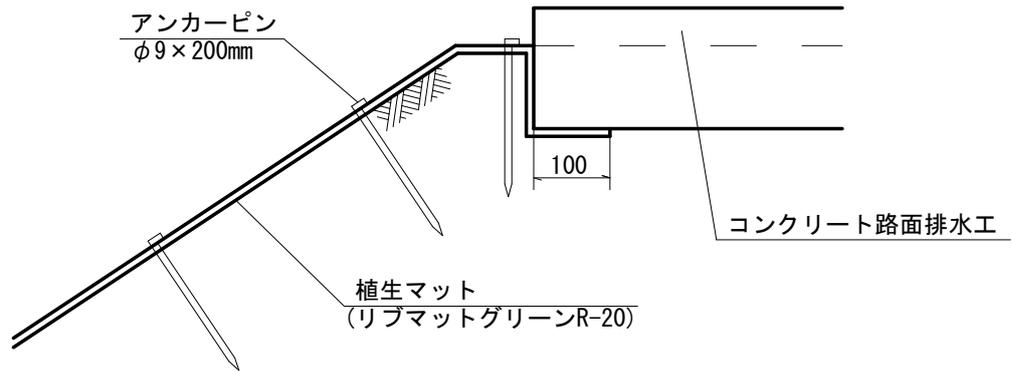
品名	形状	単位	数量	備考
ドレーンシートM45-I-K	1,000×10,000 亀甲金網付	m ²	120	割増率 20%
アンカーピン	φ9 L=200	本	184	
止め釘	L=150 プラワッシャー併用	本	422	

流末処理工標準図

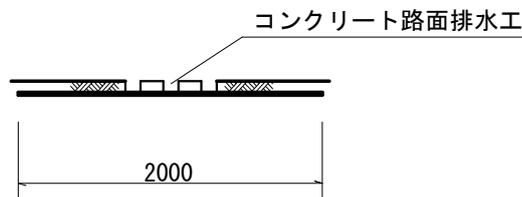
植生マット（横張り）

（単位mm）

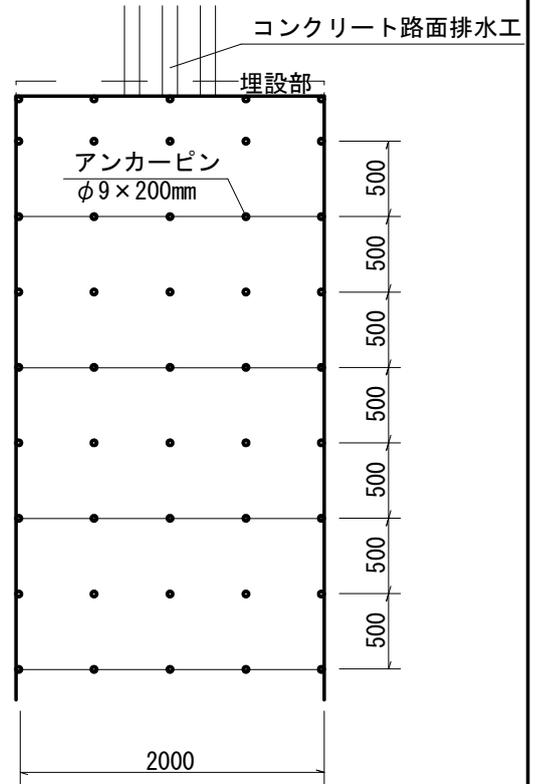
断面図 S = 1 : 10



断面図
S = 1 : 50



平面図
S = 1 : 50

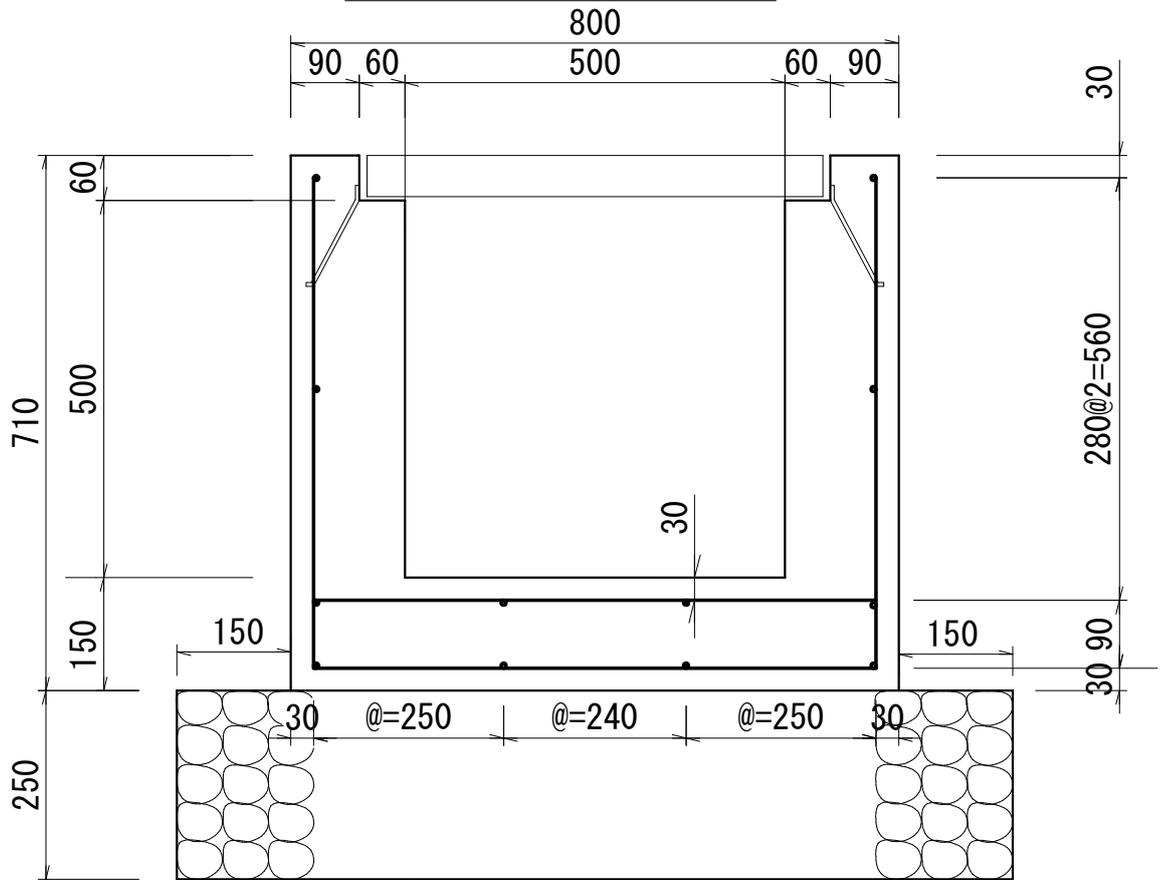


- ※現場状況に合わせて、アンカーピンの径・長さ・打設間隔を変更する。
- ※マットの重ねは客土部分で確保する。
横張：5cm程度
- ※路肩下部で流下水を導水する必要がある場合は、流下水が逸出しないよう、マット設置箇所に溝を設け導水する。

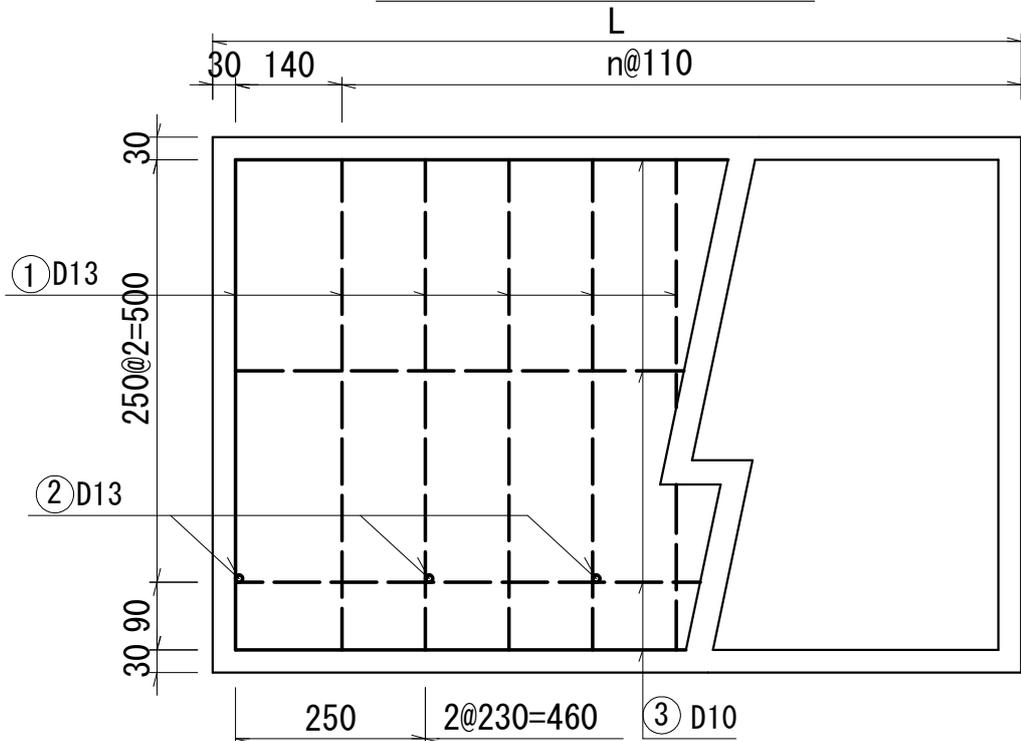


横断溝 (50×50)

断面図 S=1:10



側面図 S=1:10

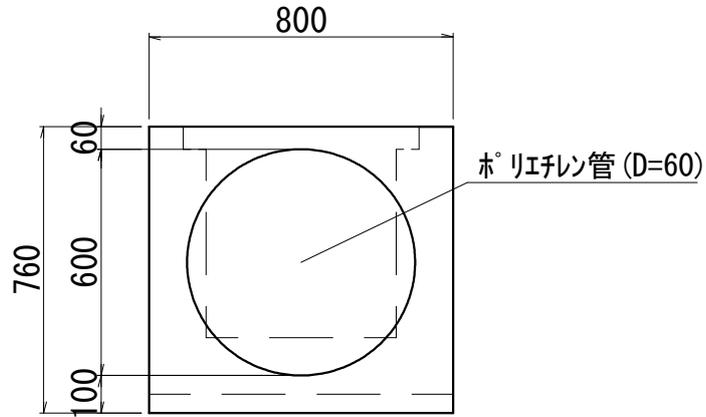


材料表

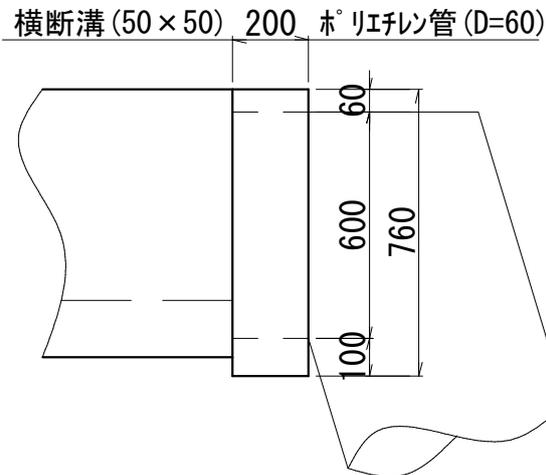
1m当り

種別	コンクリート	基礎材	型枠	鉄筋	床掘
数量	0.281 m ³	0.28 m ³	2.54 m ²	28 kg	1.1 m ³

接続コンクリート 断面図 S=1:20



側面図 S=1:20



材料表

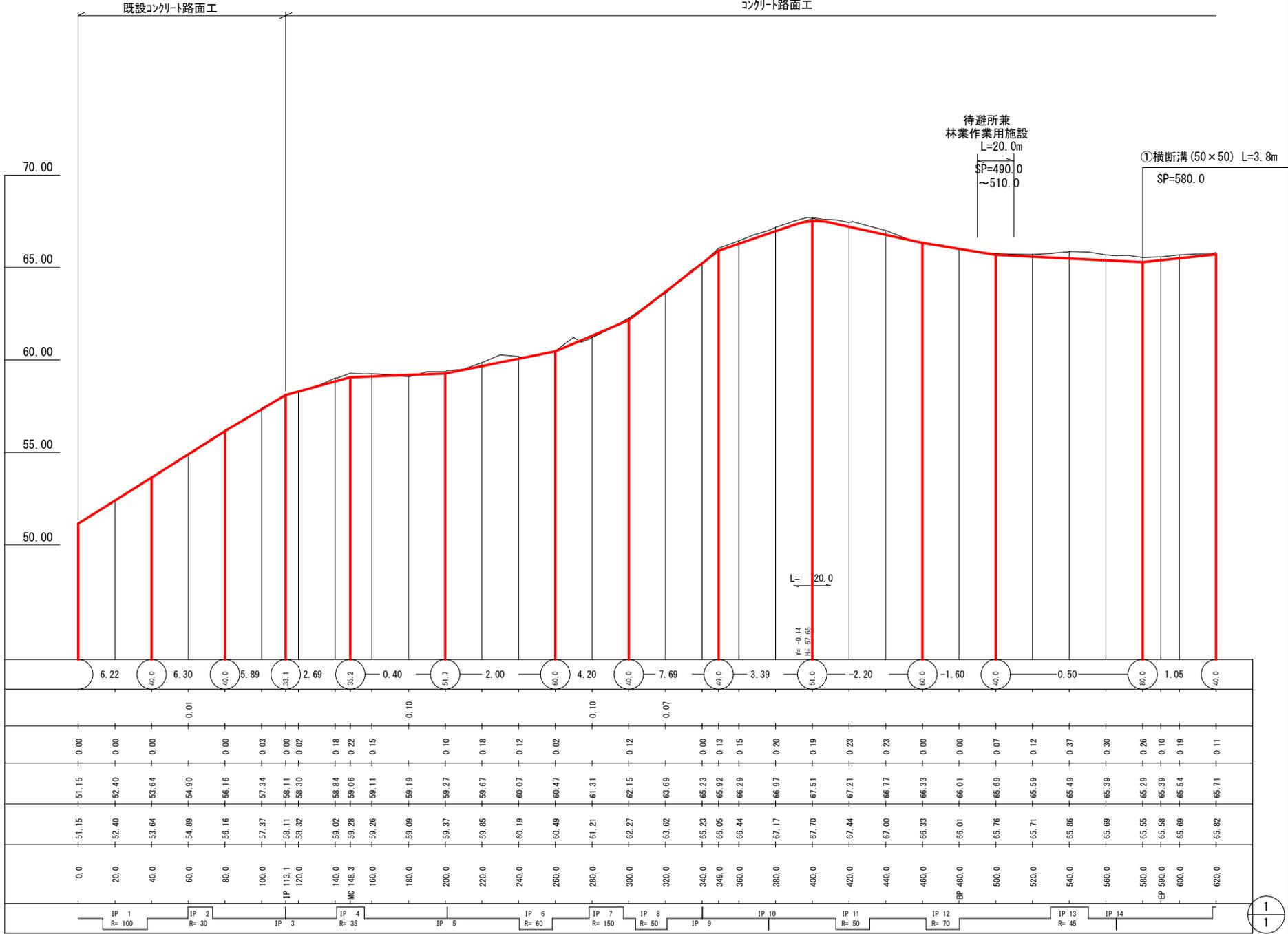
1箇所当り

種別	コンクリート	型枠
数量	0.065 m ³	0.63 m ²

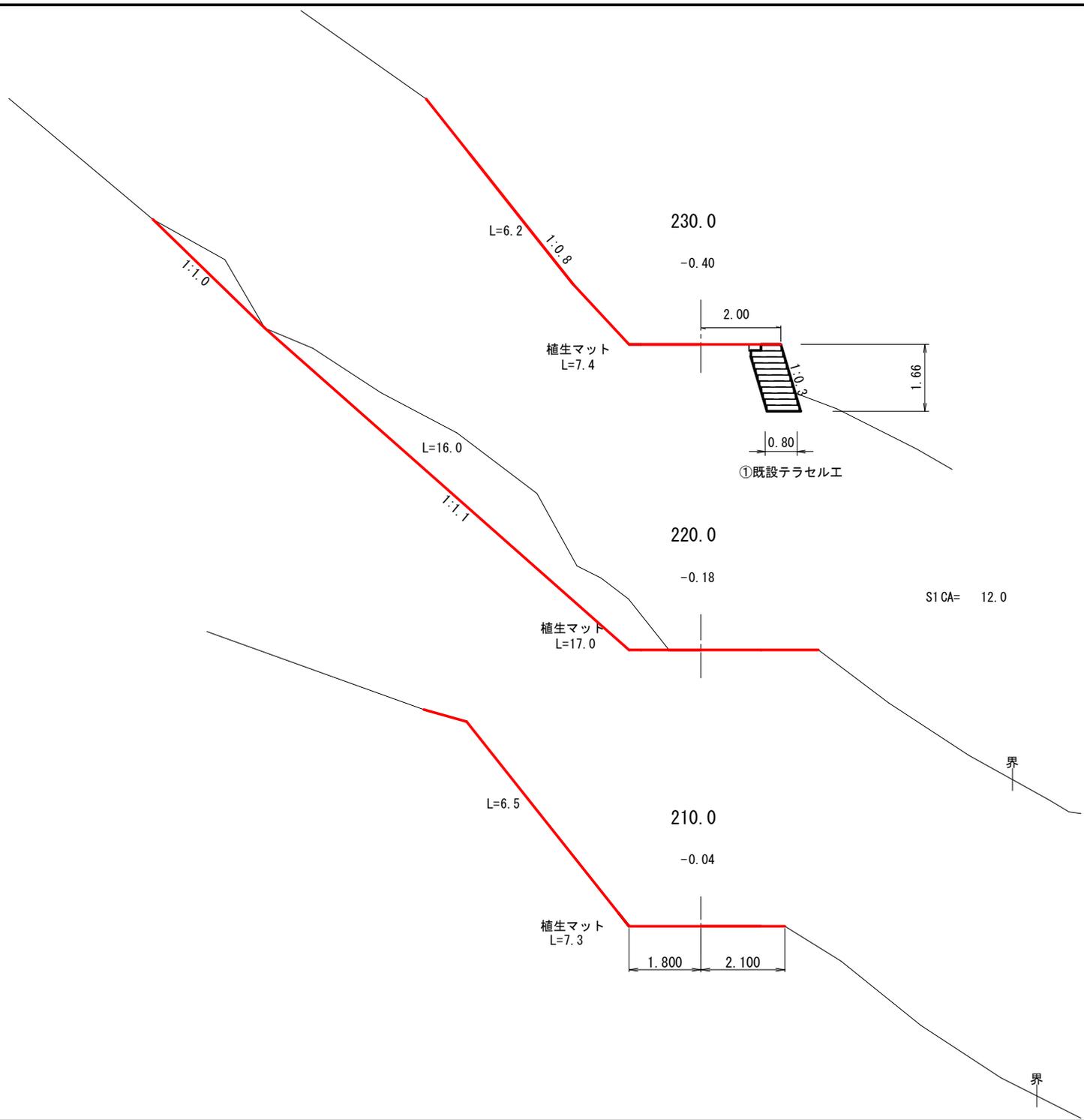
縦断面図縮尺 縦横 二〇〇分之二

BM2 H=51.907m
ブラ杭

BM3 H=63.143m
ブラ杭



勾配	6.22	4.0	6.30	4.0	5.89	3.1	2.69	3.2	0.40	5.7	2.00	4.0	4.20	4.0	7.69	4.0	3.39	51.0	-2.20	4.0	-1.60	4.0	-0.50	4.0	1.05	4.0										
盛土高			0.01						0.10				0.10		0.07																					
切土高	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.02	0.18	0.22	0.15	0.10	0.12	0.02	0.12	0.15	0.20	0.19	0.23	0.23	0.00	0.00	0.07	0.12	0.30	0.26	0.10	0.19									
施工基面高	-51.15	-52.40	-54.90	-56.16	-57.34	-58.11	-58.30	-58.84	-59.06	-59.11	-59.27	-60.07	-60.47	-61.31	-62.15	-63.69	-65.23	-65.92	-66.29	-66.97	-67.51	-67.21	-66.77	-66.33	-66.01	-65.69	-65.59	-65.49	-65.39	-65.29	-65.39	-65.54	-65.71			
地盤高	-51.15	-52.40	-53.64	-54.89	-56.16	-57.37	-58.32	-59.02	-59.28	-59.26	-59.09	-59.37	-59.85	-60.19	-60.49	-61.21	-62.27	-63.62	-65.23	-66.05	-66.44	-67.17	-67.44	-67.00	-66.33	-66.01	-65.76	-65.71	-65.86	-65.69	-65.55	-65.58	-65.69	-65.82		
測点	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	IP 113.1	120.0	140.0	MC 148.3	160.0	180.0	200.0	220.0	240.0	260.0	280.0	300.0	320.0	340.0	349.0	360.0	380.0	400.0	420.0	440.0	460.0	BP 480.0	500.0	520.0	540.0	560.0	580.0	EP 590.0	600.0	620.0
曲線	IP 1 R= 100		IP 2 R= 30			IP 3		IP 4 R= 35			IP 5		IP 6 R= 60		IP 7 R= 150	IP 8 R= 50	IP 9		IP 10		IP 11 R= 50		IP 12 R= 70				IP 13 R= 45	IP 14								



待避所兼林業用作業施設 L=20.0m

SP=490.0~510.0

L=9.1

1:0.8

490.0

+0.03

S1CA= 26.8

8.80

植生マット
L=10.1

L=5.2

1:0.8

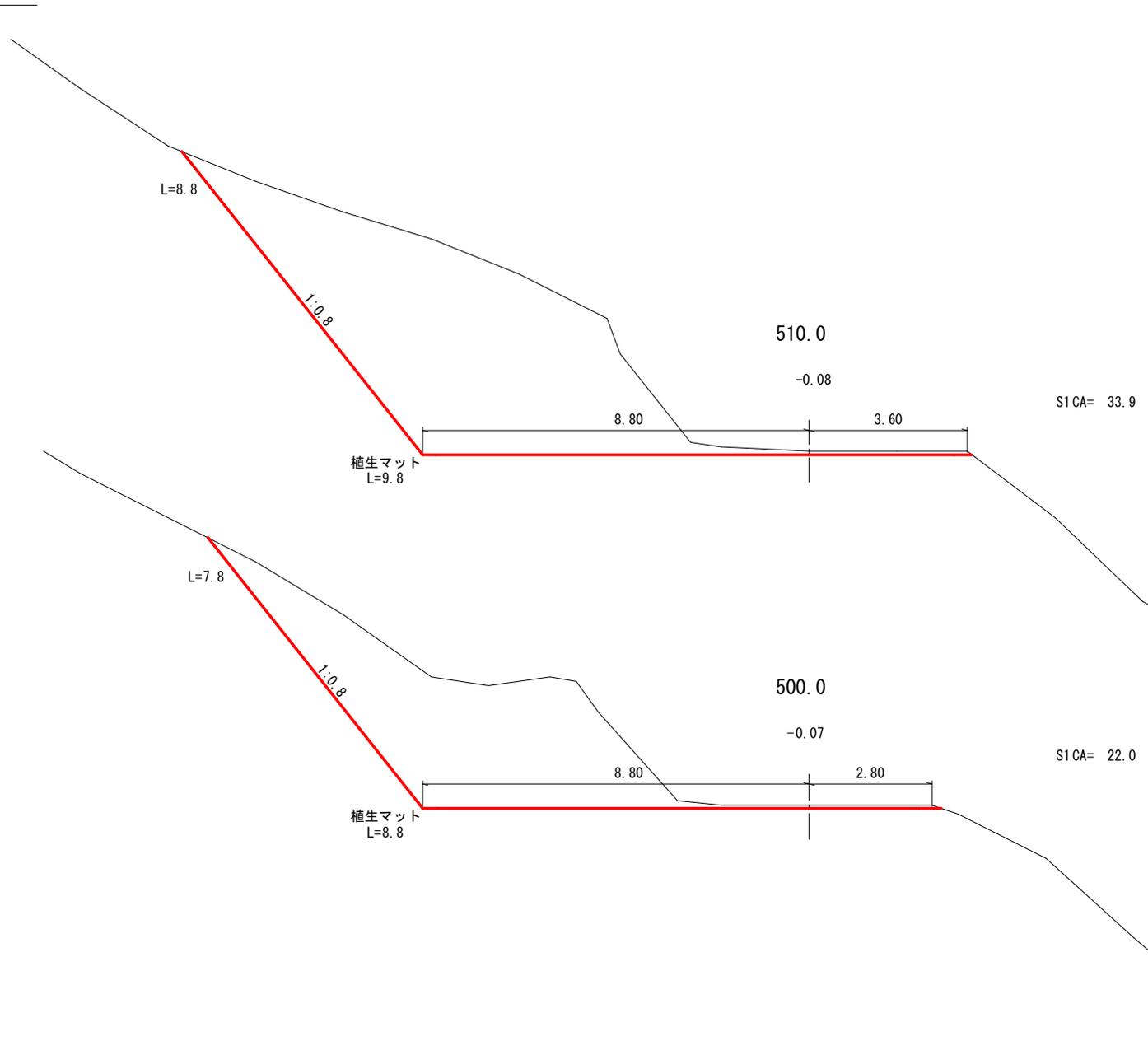
BP=480.0

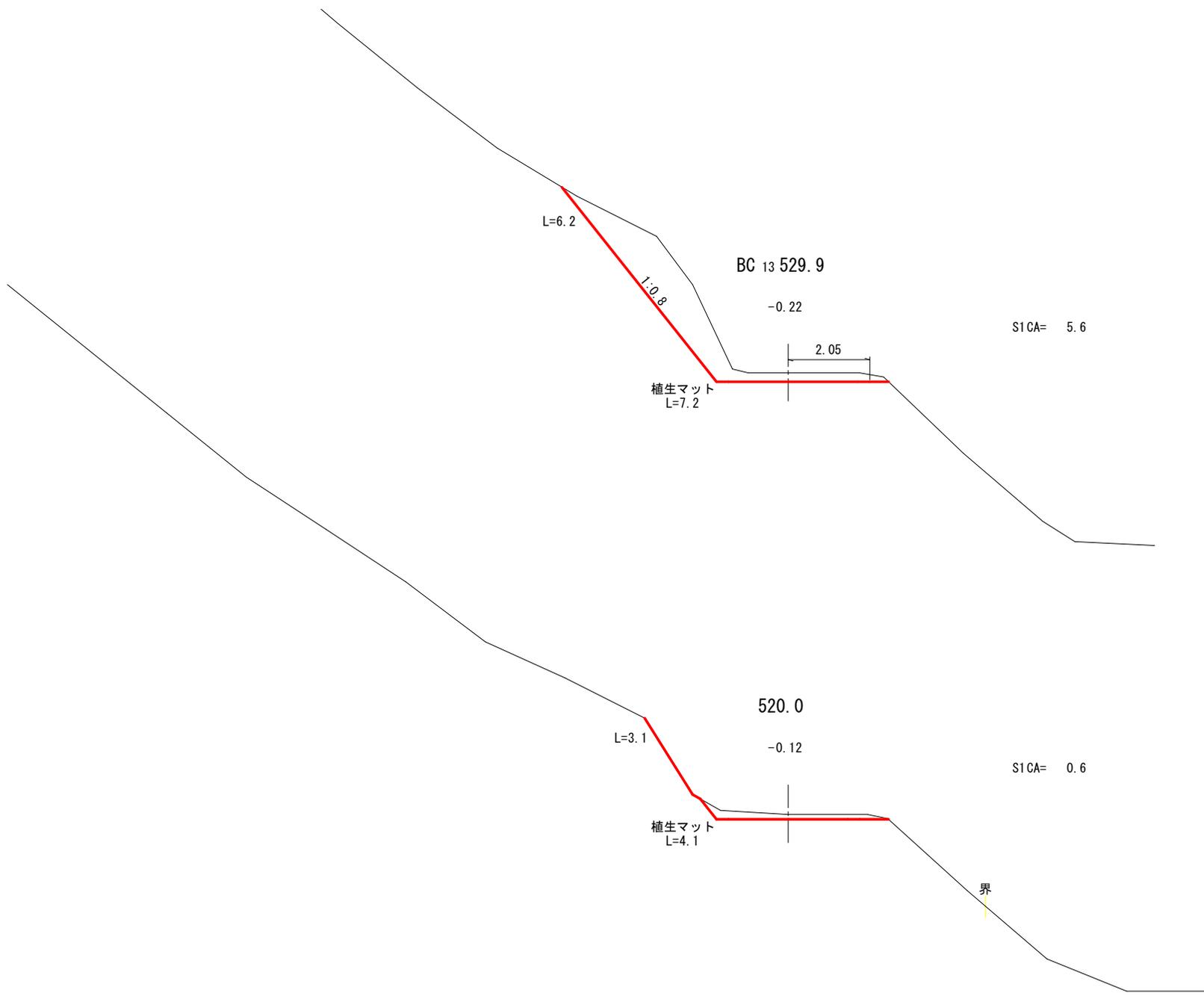
+0.02

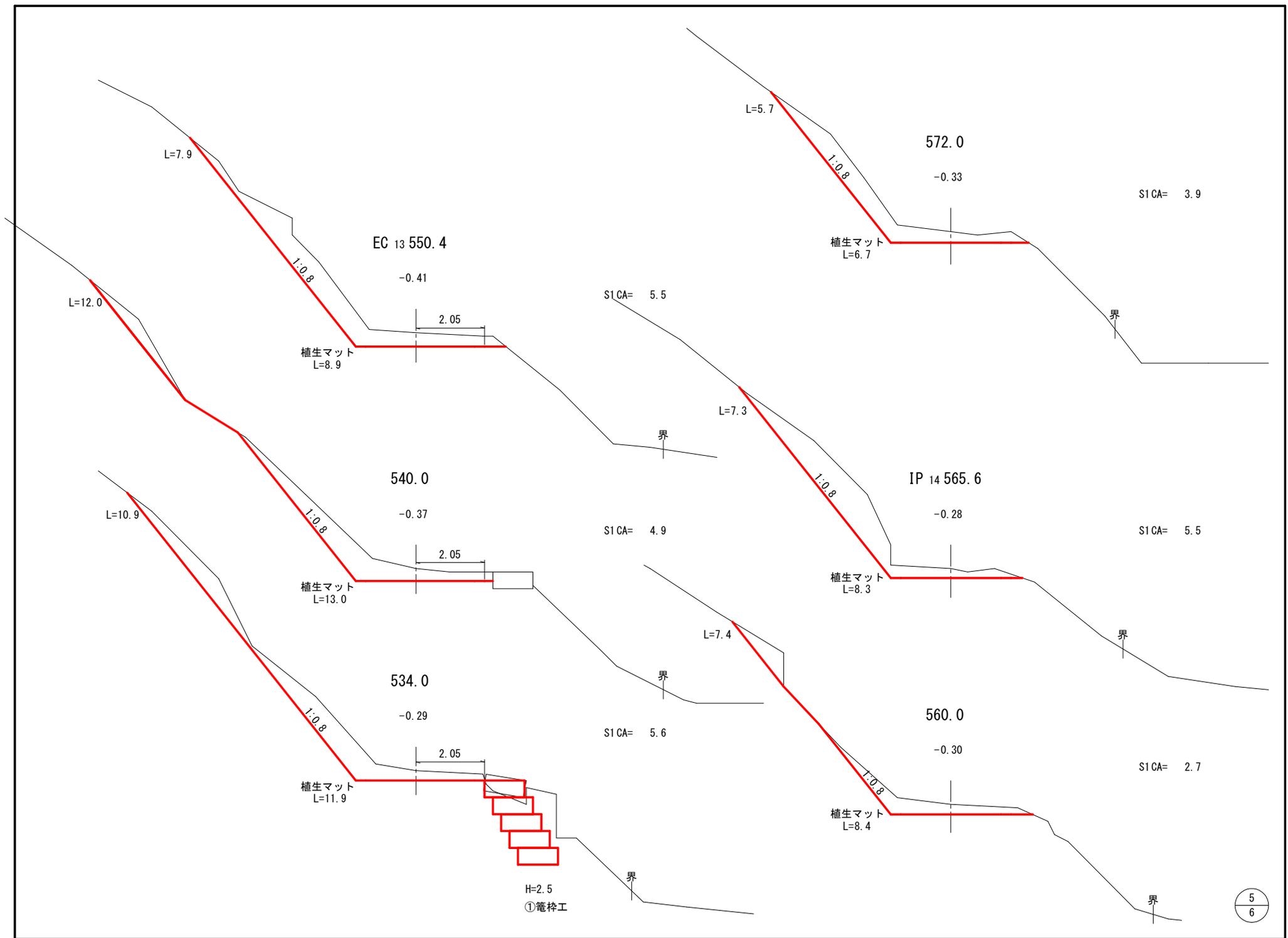
植生マット
L=5.3

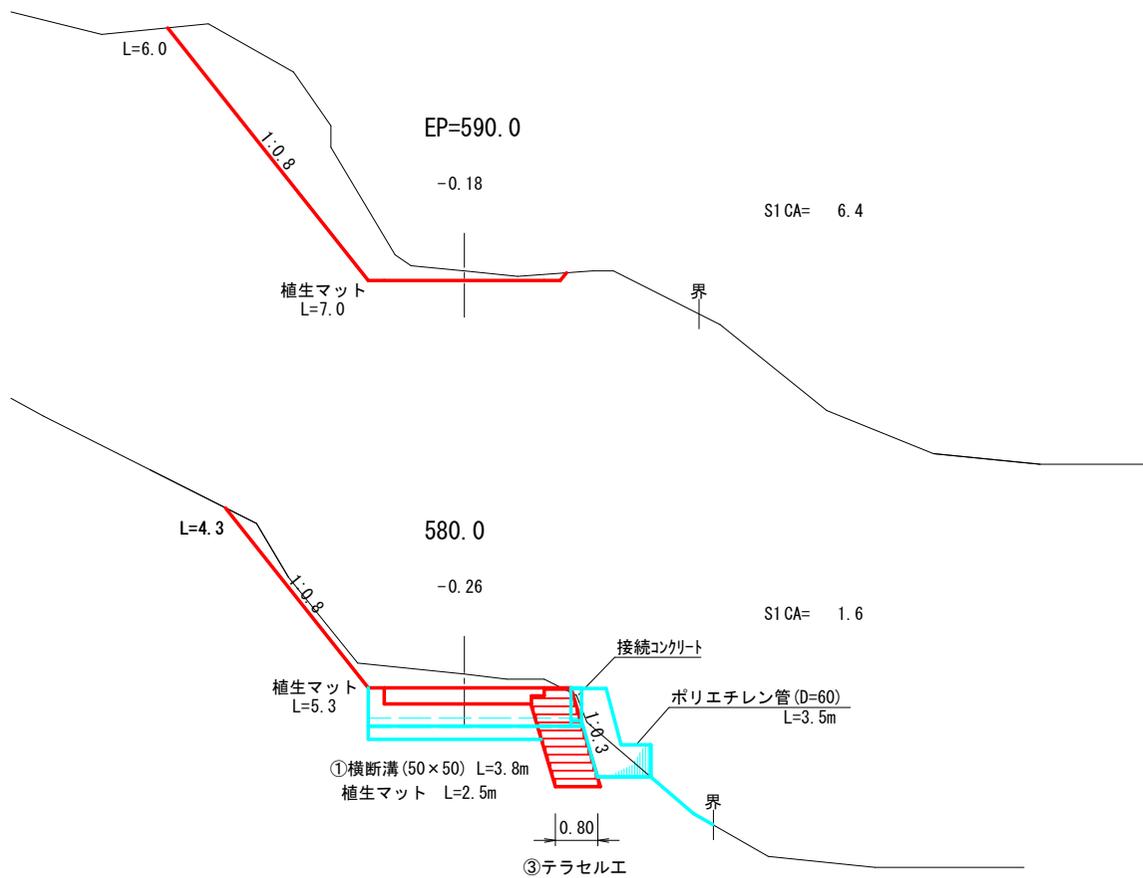
待避所兼林業用作業施設 L=20.0m

SP=490.0~510.0



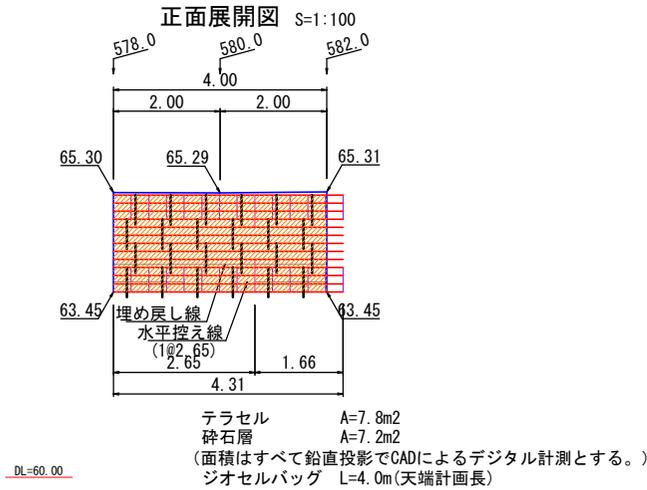




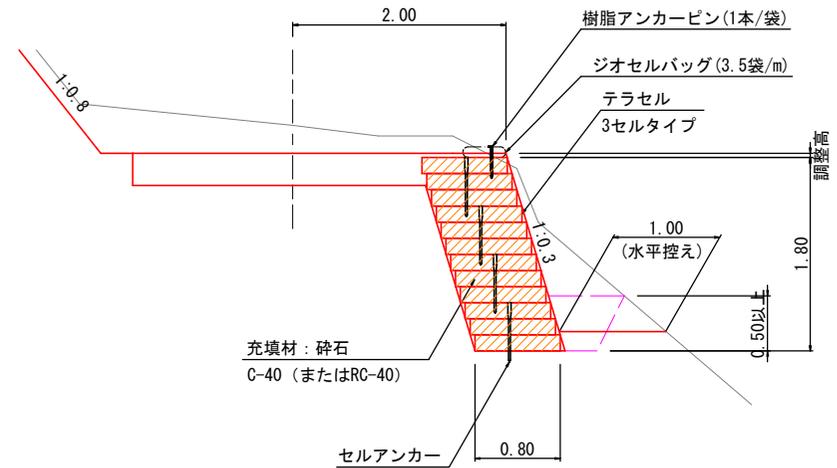


3号テラセル工計画図

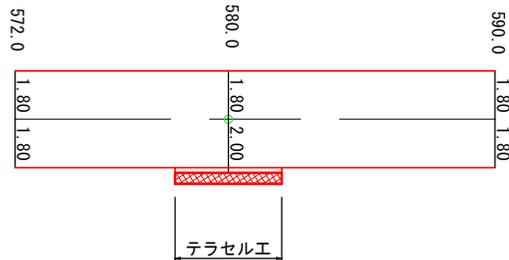
578.0~582.0



標準断面図 S=1:50



位置図 S=1:200



※支持地盤は、調査および試験を行い、構造計算書の支持力を満足すること。

特記事項	NETIS:KT-090023-VE (期間満了によりNETIS掲載終了)
盛土材料	<ul style="list-style-type: none"> セル内の締固め密度管理は、乾燥密度で管理する場合は、最大乾燥密度の90% (路体) 以上を満足すること セル外の締固め密度管理は、発注機関で定める基準値を満足すること
基礎地盤	<ul style="list-style-type: none"> ジオセル擁壁基礎地盤の支持力確認を行うこと ジオセル必要地盤反力 $q = 52.48 \text{ kN/m}^2$ 以上 設計条件通りの地層が掘削時に確認できない場合、支持力確認で必要反力が確保できない場合は、置換え、地盤改良、ジオセルマットレス工などで適切な処置が施された地盤とすること
排水工	<ul style="list-style-type: none"> 適切な排水処理を施すこと 予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと 施工中は、仮排水工を設けるなどジオセル擁壁部へ水を導かないように排水処理を行うこと
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること
テラセル相互接続部	<ul style="list-style-type: none"> 公的機関で接続部の試験を実施している製品とする ジオセル製品の接続強度は、製品の溶着強度と同等以上とし 2130N/15cm 以上とする
セルアンカー	<ul style="list-style-type: none"> 摩擦補助のため打設すること。(安定計算では考慮しない) 配置図に示す本数を打設すること。 壁面の連続性および一体化を促進することを目的とする。
テラセル表面シート	<ul style="list-style-type: none"> テクスチャー加工の表面シートで耐候性を考慮し、色を黒とする

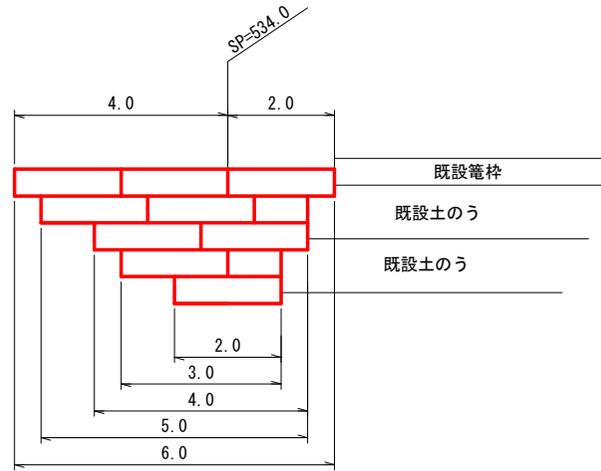
凡例	
形状	種別
	テラセル
	砕石層
	セルアンカー

数量表			
項目	規格	単位	数量
壁面工	直高面積	m ²	8.2
	3セルタイプ L2650×B800	枚	21
テラセル	セルロック	個	147
	セルアンカー	本	24
裏面排水材	セルドレーン (W=200mm, t=15mm)	m	5.9
ジオセルバッグ		袋	14
樹脂アンカーピン	□20×300	本	14
砕石	C-40 (またはRC-40)	m ³	6.3

※壁面工、裏面排水材5%、砕石10%のロス含む。

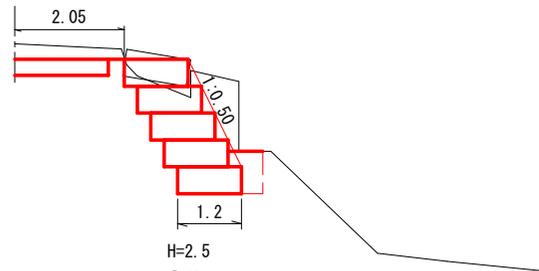
展
開
図
縮
尺
一
〇
〇
分
之
一

① 籠枠工 L=20.0m



534.0

-0.29



H=2.5

① 籠枠工

S1 CA=3.6

RA=0.4